

# 総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成27年度)

## 2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ②ライフ・イノベーション分野(8/13)

	評価区分(※)	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
みえライフイノベーション 総合特区 (三重県)	正	3.6	3.6  進捗度 ・統合型医療情報データベースの規模 20%  ・医療・福祉現場ニーズの収集件数 132%  ・医薬品・医療機器生産金額 70%  ・研究開発支援拠点プラットフォームの活用 機関数 342%  等	3.5  規制の特例等 ・健康増進に資する機能性食品の効能効果の表示・広告の実施  財政支援等 ・みえライフイノベーションプラットフォーム整備事業  ・地域活性化総合特区支援利子補給金 3件  等  地域独自の取組 ・医療・福祉機器等研究開発補助金  等	3.6	<p>・広い県域全体からシーズとニーズを地道に集める体制を構築し、実際に製品化までつながっている案件が出てきていることは高く評価できる。</p> <p>・統合型の医療情報のデータベース化が構築されたことが、活用機関数の増加に結びついたと判断できるが、一方、データベースの構築とそれを活用した新産業の創出は他地域でも取組がある。全国に先駆けて先進的なモデルの構築を期待する。</p> <p>・ICTによるネットワークの形成の土台となる施設間の人的交流等、アナログ的なネットワークの強化が必要なのではないか。</p> <p>・本特区の価値を明確に打ち出すため、薬事工業生産の増加等の評価項目について検討した方が良いと思われる。</p>

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)